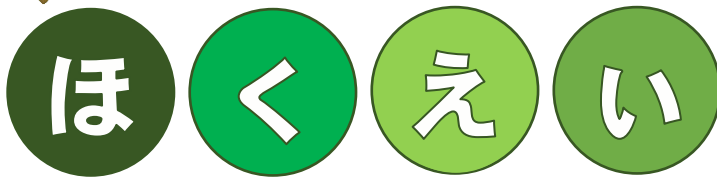




帯広市立北栄小学校 学校便り 18号

家庭や地域と共にある学校～共育(きょういく)～



《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にできる子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和6年2月14日 発行者 柴山 敬

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/>

下半期の学校評価

～多くの項目が上向きに！～

本校の下半期の学校評価アンケートについて、ご協力いただき、ありがとうございました。アンケート（保護者・児童・教職員）を集約したところ、右表のとおり16項目中14項目で上半期の結果よりも数値が上がっていました。この結果を参考とさせていただきながら、今後も教育活動の充実に努めてまいります。

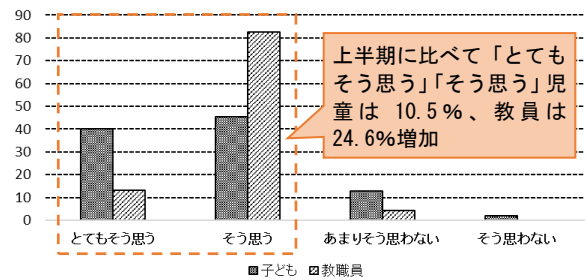
上半期よりも数値が上がった項目 ↑(上昇) 空欄(下降) 0(変化なし) 黒(該当なし)

No.	項目	「とてもそう思う」			「とてもそう思う」+「そう思う」		
		保護者	児童	教職員	保護者	児童	教職員
1	楽しく学校へ通う	↑	↑	↑	↑	↑	0
2	学習内容がわかる	↑	↑	↑	↑	↑	0
3	ICT活用の授業は効果的	↑	↑	↑			↑
4	家庭学習の習慣化		↑		↑	↑	
5	学習意欲の向上		↑	↑		↑	
6	伝え合う力の向上		↑	↑	↑	↑	↑
7	体力の向上					↑	
8	安全対策をしている	↑		↑	↑	↑	0
9	生活習慣の定着		↑				
10	安心感のある学校生活	↑	↑	↑	↑	↑	0
11	メディアのルールの定着		↑		↑	↑	
12	児童と教師の良好な関係	↑		↑		↑	0
13	あいさつの習慣化						
14	地域と連携協働している		↑	↑	↑	↑	↑
15	登下校で見守られている	↑	↑		↑	↑	
16	情報発信されている						0

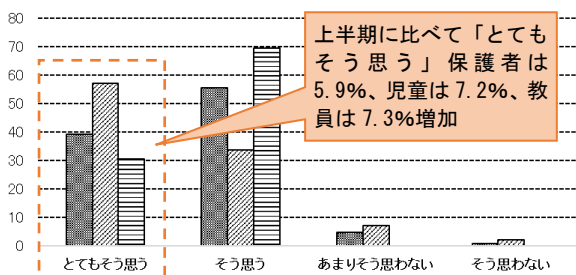
学校生活・学習での充実感

多くの児童が学校での生活を楽しみにしており、充実感を得ています。とりわけ学習については、「理解している」児童が92.6%で、上半期よりも4.7%多くなっています。さらに「もっとわかるようになりたい」「できるようになりたい」と思う児童の割合も増え、校内研究として進めてきた「伝え合う力」の育成も高まっていることがわかります。

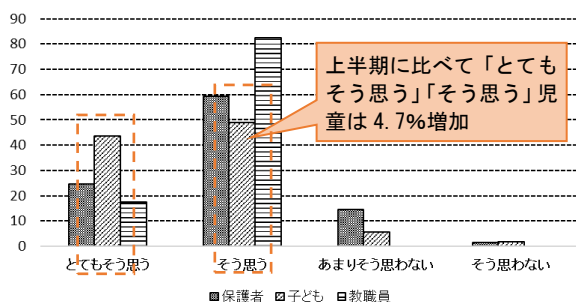
【C】友達と話し合う活動を通じて、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている



【A】(児童は)楽しく学校へ通っている



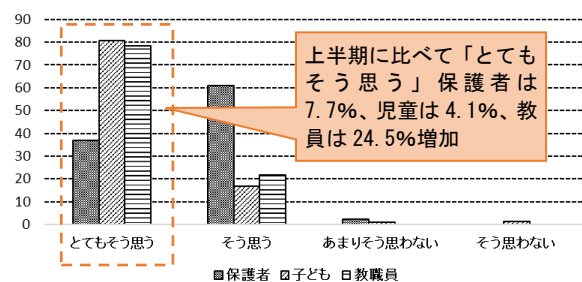
【B】授業では学習の内容がわかる



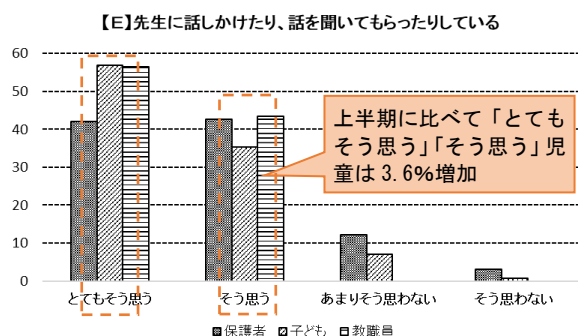
安心感

9割以上の児童が安心感をもって生活しています。「いじめはよくないと考え、友だちと仲良く安心して過ごしている」の問いについて「とてもそう思う」と回答した児童は80.6%（「そう思う」は16.9%）で、上半期よりも4.1%多くなっています。

【D】いじめはよくないと考え、友だちと仲良く安心して過ごしている



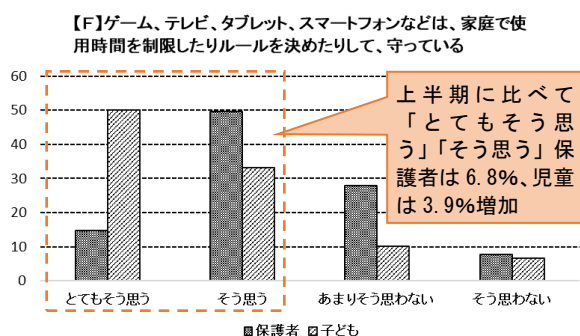
また、「先生に話しかけたり、話を聞いてもらったりしている」の問いについて「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童は92.2%で、上半期よりも3.6%多くなっています。



メディアのルールが定着傾向へ

ゲーム機やスマートフォンなどが子どもの心身に与える影響については、無視できないものです。端末機器の取り扱いに関する家庭でのルールづくりは急務とされており、今回の学校評価の結果でもルールの定着が少しずつ進んでいることがわかります。

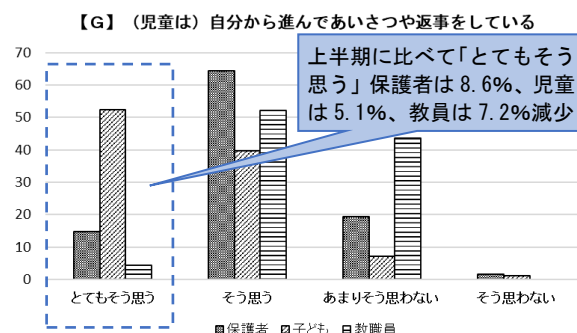
「ゲーム、テレビ、タブレット、スマートフォンなどは、家庭で使用時間を制限したりルールを決めたりして、守っている」の問いについて「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者は64.3%で上半期よりも6.8%多くなり、児童は83.1%で3.9%多くなりました。



「あいさつ」を習慣に

「(児童は) 自分から進んであいさつや返事をしている」の問いについては、上半期よりも評価が低くなりました。「とてもそう思う」と回答した保護者は14.7%で上半期よりも8.6%、児童は52.3%で5.1%、教職員は4.3%で7.2%少

なくなりました。



「あいさつ」は、安心感を得たり、人との良好な関係を築いたりする大切なものです。まずは気軽にかわす「あいさつ」を大事にしたいものです。

大雪の中での登校再開

～ ご支援いただき ありがとうございます ～

2月3日(月)から4日(火)にかけての記録的な大雪による3日間の臨時休業を経て、7日(金)から学校を再開しました。

登校日の朝、PTA役員をはじめ保護者、関係者の方々には、除雪されていない通学路を中心に、児童の安全確保のために付き添ったり、注意を呼びかけたりとご支援をいただきました。本当にありがとうございました。



臨時休業中に職員で通学路の通行の可否を目視で確認したり、交差点や歩道の除雪を行ったりするなどの作業を進めてきました。しかし、登校日の通学路には、職員の対応だけでは心配な個所があり、早朝からPTA会長の白木裕之さんも相談にのってくださいました。

皆様のおかげで児童は無事に登校することができました。今回のことを教訓に、引き続き学校の安全に努めてまいります。